

2007年1月31日

バングラデシュでおきている人権侵害について

アジア開発銀行 Water Specialist
Kenichi Yokoyama 様、

新聞などのメディアの報道によると非常事態宣言後、3万3千人が逮捕されたと報道されています¹。また、現地NGOからの情報によればバングラデシュで活動しているNGO関係者1800人以上が軍関係組織によって不当に逮捕され拘束され、その中には拷問を受けている市民もいるとのこと。バングラデシュのNGO、Uttaran代表のシャヒドゥール氏(Mr. Shahidul Islam)は逮捕・拷問された大勢のうちの一人です。Uttaranは国際的なネットワークNGOの一員であり、アジア開発銀行融資によるKhulna Jessore Drainage Rehabilitation project (KJDRP)により引き起こされた湛水問題により被害を受け土地・住居を失った住民への補償を確保しようと運動を続けている市民団体です。シャヒドゥール氏はKJDRPによる被害を周知させ、住民の権利を確保する運動を行ってきたために、軍により拷問・拘束が行われていると推測されています。

現地NGOによると、逮捕状なしに以下の拷問・拘束が行われたとのこと。

- ・ 2007年1月27日(土)9:30am(バングラデシュ時間、以下同様) バングラデシュの Satkhira 県 Tala 郡にある Uttaran のオフィスにやってきた軍関係者によってシャヒドゥール氏は連れ去られ、軍所有のトレーニング・センターに収容された。
- ・ 同日の午後にシャヒドゥール氏は警察に引き渡され、同夜、地域拘置所に収容された際に一ヶ月間拘束を言い渡された。
- ・ 拘束中、彼は軍将校の指揮下の joint forces によって2時間以上に渡って拷問を受けた。
- ・ シャヒドゥール氏は医師による診察が必要な状態だったにも関わらず、拘置所関係者はそれを許可していない。

¹ <http://news.www.infoseek.co.jp/world/story/20070130afpAFP010764/>

新聞報道によれば、戒厳令が敷かれてからというもの、上記のような逮捕理由での逮捕状なしの逮捕が続出しているそうです。また、非常事態宣言によって市民の基本的人権は一時停止されており²、シャヒドゥール氏の釈放を求めた活動ですら制限されているとのこと、これは著しい人権侵害と考えられます。この件については、欧州連合駐ダッカ欧州委員会代表部も対応を取ると動き出しているとの情報が欧州のNGOから入っています。

よって、私たちはアジア開発銀行に対し、以下のことを求めます。

- 1．バングラデシュ政府に対し、速やかにシャヒドゥール氏の釈放を求めること
- 2．バングラデシュの基本的人権及び自由の保障状況を確認すること
- 3．基本的人権及び自由の保障が確保されていないと判断される場合は、速やかにバングラデシュ政府に、その改善を働きかけること

ご回答よろしくお願い致します。

「環境・持続社会」研究センター
持続可能な開発と援助プログラム・スタッフ
藤沼美和

CC:

アジア開発銀行駐日代表事務所 坂巻様
財務省国際局開発機関課長 木村様
財務省国際局開発機関課長補佐 田染様

² International Herald Tribune, January 11, 2007 より
<http://www.ihrt.com/articles/ap/2007/01/11/asia/AS-GEN-Bangladesh-State-of-Emergency-3rd-Ld-Writethru.php>